

英語を使える臨床獣医師に今こそなろう！

石山 大[†]（千葉県農業共済組合連合会西部家畜診療所関宿出張所）

読み書き重視の英語学習では本当の英語力はない、というのはよく聞く話である。私も例に漏れず、英語を勉強し始めて19年にも及ぶが、英語が使えると言うには程遠い。思い返せば、テストや大学の試験に受かることだけを目的として勉強していたのが6年間で、その後は、時折読まなくてはならない論文を、古文書を紐解くように解説していたのが11年間も続いた。本気になって勉強したのはわずかここ2年にも満たない。しかし、まだまだ未熟ではあるが、この短期間で英語力はみるみる向上しているのが分かる。また、英語が読めれば最新の獣医学を学習できる機会が増し、日々の症例に対する理解に奥行きが出てきて非常に楽しい。英語学習のツールが充実してきた今こそ、英語を再び学び直すチャンスであると私は考える。

私が本気になって英語学習を始めたきっかけは、論文を投稿するにあたり英語での要旨の執筆に苦勞したこと、英語の聞き流しのみの学習法では英語力が全く向上しなかったという苦い経験にある。

国際化の進む現在、日本語で投稿する学術雑誌でも、英文の要旨を求められている。面倒見の良い雑誌だと、英語翻訳を代行してくれることもあるが、ほとんどは著者自らが行わなければならない。もちろん、英語翻訳を行う有料の代行サービスは多数あるが費用は高い。

私も過去に、学術雑誌に和文の論文を投稿した際、英文要旨を書かざるを得なかった。最初、お金に余裕があるわけではないので、自分の力で行おうとした。しかし、書こうと思っても全く書けなかった。何日もパソコンを前に一行も書けない日が続いた。苦勞の末、英文法が全くできていない本当にひどい英文を作り上げ、同僚の先生に添削してもらい、最終的には代行サービスの英文添削のみを利用して論文を投稿できた。しかし、長時間かかって、あまりにも稚拙で自分でも理解不能の英文しか書けない自分がただただ悔しかったことは今も忘れない。

話は過去に戻るが、私は以前から英語ができるようになりたいと思っていた。ただし、それは誰もが考えているであろう、「英語が話せたらいいな」という漠然とした思いであった。「聞くだけで英語ができるようになる」

と謳うラジオの宣伝に本当に効果があり、続けていればいつかできるようになるものだと楽観的に考えていた。そこで、貧乏性の私は「英語が聞ければ何でも良いだろう」と判断し無料配信であるPodcastによる英語番組の聞き流しを始めた。それを1年ほど続けた後、英語のスピードにも慣れたので、「これだけ英語を聞いたのだから得点は上がっているはず」と思い、大学生以来となるTOEICを受験した。何と、英語力は全く上がっておらず、大学の在学中とまるっきり同じ得点であった！宣伝の謳い文句を信じていただけにショックであった。この出来事が、前述した論文の英文要旨に苦勞した時期と重なった。

これらの理由から、切に「英語でこんな苦勞はもうしたくない！横着せずに、ちゃんと一から英語を勉強し直そう！」と思い、まずはTOEICの得点を100点上げることを目標に勉強を始めることにした。

お勧めの英語教材は後述するが、診療の合間や帰りにコンビニの駐車場へ寄り大学受験用の参考書を片手に30分の英語の勉強をする日々がひたすら続いた。そんなある日、大学院の学費助成制度が私の会社にあることを知り、応募することにした。結局、この応募からは落選してしまったが、自費での大学院入学なら問題ないという許可が得られた。「獣医学を学び直したい」、「自分の遭遇した症例についてもっと詳しく調べてみたい」とも強く思っていたので、大学院受験を決意した。受験科目には獣医学の専門科目が3つに加え、英語が課せられていた。このとき、飛躍的に英語力を上げる必要に迫

石山 大

— 略 歴 —

- 2008年 東京農工大学農学部獣医学科卒業
- 同 年 千葉県農業共済組合連合会入会
- 2014年 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程入学



[†] 連絡責任者：石山 大（千葉県農業共済組合連合会西部家畜診療所関宿出張所）

〒270-0213 野田市桐ヶ作462-11 ☎04-7196-0005 FAX 04-7196-0146 E-mail: daimode@gmail.com

られることになった。

明確な目標設定は非常に重要で、その後もやる気を維持して英語の勉強を続けられた。失意の時期から1年が経つ頃になると、比べものにならない程に英語力がついていった。大学院の試験は無事に突破したし、再びTOEICを受験すると得点は200点も上昇していた。このとき、自分を過信せずに最初からそれ相応の勉強をしなければならなかったのだと、しみじみと悟った。しかし、聞いただけで英語ができるようになる天賦の才能のある人間はそうはいないはずである。みんな苦勞して英語の習得をしているのであろう。そして、その苦勞に挫折し、英語の習得を諦める人もきっと多いのだと思う。

今、私はこのような苦勞やもっと効果的な勉強法を臨床獣医師で共有できる場を作りたいと考えている。そして、みんなでより効率良く科学英語や獣医学英語を学びたい。海外からの講演者のジョークに時間差なくクスッと笑え、海外の学術誌に論文を投稿し、国際学会にも積極的に参加する臨床獣医師がもっと増えることを切に願っている。さらにその先には、私たち日本人の獣医師が国際的に活躍できる未来が広がっていると思う。

最後に、私の勉強方法を少し紹介したいと思う。英語の基本的な勉強方法は英語上達完全マップという本(Webサイトでも同内容を閲覧可能)が参考になる。私はリスニング対策の大学受験用参考書から開始し、英文法と基本的な英単語をスタジオジブリの映画の英語版と英文法の参考書を繰り返し見て学んだ。大学院受験対策として、医学部受験用の大学参考書と共に、過去問に出

てくる獣医学用語をWikipediaの英語版で繰り返し読んで覚えた。それ以降は、例文をCDで聞ける単語集を使い語彙を地道に増やしている。私たち産業動物獣医師は農家間の移動のために車内で過ごす機会が多いので、音声教材は飽きるほど聞くことができるのでとことん利用している。

さらに、「診療に役立つことも一緒に勉強したい」と考える忙しい獣医師へ特にお勧めの無料Webサイトを2つ紹介したい。1つ目はKhan Academy(カーンアカデミー)で、初等教育から大学レベルの講義を科学、医学から美術史、経済学に至るまで、教育ビデオを見ながら学習できる。さすがに獣医学の講義はないが、生物学と医学を順次学習すれば、必須の科学英語を学びながら体系的にこれらの分野の復習ができる。2つ目はMassive Open Online Course(MOOC, ムーク)で、世界中の大学で行われている講義を受講できる。代表的なCourseraやedXには、教育ビデオだけでなく、参考になる配布資料の紹介やテスト、受講する上でのサポートも非常に充実している。アニマルウェルフェアや統計学の講義を受講してみて、英語で理解するのは大変であるが飽きずに学習ができ、普段の診療にも直結する内容であると感じた。これらの次の段階は、好きな内容の成書や論文を読んでいけば良いだろう。

日本で国際学会が行われることも昨今多い。私は今、2018年に札幌で行われる世界牛病学会で発表することを目標に英語学習を続けている。英語を使える臨床獣医師を目指し、今こそ一緒に勉強を始めてみませんか？